

「生殖幹細胞操作によるクロマグロ等の新たな受精卵供給法の開発」

公開シンポジウム

日時：令和3（2021）年3月23日（火）13:00～17:40

課題代表挨拶 吉崎悟朗

東京海洋大学長挨拶 竹内俊郎

文部科学省挨拶 大土井智（研究開発局海洋地球課長）

魚類の生殖幹細胞操作：その原理と歴史 吉崎悟朗

スマはクロマグロ配偶子生産のための適切な宿主になりうるか？ 矢澤良輔

クロマグロ生殖細胞の可視化と追跡 市田健介

スマ宿主がクロマグロの精子を作った！ 川村 亘

マスノスケだけを生き続けるニジマスの生産 藤原 亮

魚のタイムカプセル：凍結細胞から魚を作る 吉崎悟朗

試験管内の培養細胞から魚を作る 識名信也（台湾海洋大学准教授）

生殖幹細胞操作で拓く未来の魚類生産 森田哲朗

プログラムディレクター講評 西田 睦（琉球大学長）

後援：東京海洋大学 水圏生殖工学研究所

* 機関名の記載がない講演者はすべて東京海洋大学所属。

本シンポジウム は zoom ウェビナーで開催します。

参加をご希望の方は、以下の登録サイトで参加登録をお願いいたします。

zoom ウェビナーへの参加情報を、ご登録いただいたメールアドレスに自動返信致します。

参加登録サイト URL（右記 QR コードからも登録サイトにアクセス可能です。）

https://zoom.us/webinar/register/WN_tN0M7_BfTA6OYopg0So7NQ

